

New York Public Library から学ぶもの 公共図書館との連携を視野に

学習院女子大学 越塚美加

mika.koshizuka@gakushuin.ac.jp

1. Frederick Wiseman監督作品 Ex Libris: The New York Public Libraryを観て

- ▶ 映画の中では、全92館中、分館は12館のみが取り上げられている
- ▶ 88の“Neighborhood Libraries（分館（地域館の方が適切か？））”と4つの“Research Centers（研究図書館）”によって構成されている。

Neighborhood Librariesの運営

- ▶ 予算はNYCから
- ▶ 「地域館は無料で利用できる本、コンピュータ、Wi-Fi及びすべての年齢の人を対象にした、重要な教育プログラムを提供している」
 - 地域のコミュニティセンターとしての役割
 - 例) 高齢者のダンス教室は地域の要望によって実現
 - = すべての図書館で行うという考え方ではない
- ▶ インターネットのルーターを貸し出しているのは、インターネットに接続できないと宿題ができないから。来年は選挙の投票がインターネットで行われるので、もっと重要性が増す課題
- ▶ 必要なのは「地域ごとのニーズを掬い取るための努力」
- ▶ 映画の中には出てこないが、SIBLは大学を卒業しても就職できない学生の求職支援サービスを実施。
 - 行き場のない人々が物理的に集まれる場を生み出すことの意義。



人々の日常生活や不満（不安？）の中に図書館が貢献できることがあるのではないか

4つのResearch Centers

- ▶ 財源はニューヨーク州からと寄付によって運営（レジユメの修正をお願いします）
- ▶ 寄付金は大口の寄付（誰もが税金対策と言いますが）と市民の1ドルからの寄付による
→図書館はどちらも大事に思っている
- ▶ ①Stephen A. Schwarzman Building（本館）、
- ▶ ②The New York Public Library for the Performing Arts（舞台芸術図書館）、
- ▶ ③Schomburg Center for Research in Black Culture
（シヨンバーグ黒人文化研究センター）、
- ▶ ④Science, Industry and Business Library : SIBL（科学産業ビジネス図書館）

2. 「公共 (public) 」図書館の意味

- ▶ 「あらゆる」人々に無料で開かれている図書館
 - ニューヨークで生活する人すべてを対象としている
- ▶ 図書館は民主主義の柱である
(ノーベル賞を受賞した黒人女性作家トニ・モリスン (Toni Morrison) の言葉)
- ▶ 財源 (年間予算約3億7千万ドル) の構成 (キャリー・ウェルチ氏による)
 - 官 (半分をNYC(地域館にしか使えない)から、
NY州から約2000万ドル (研究図書館用) 、
残りを民間 (寄付) から
 - 集めた予算の使い道を、集めた目的に沿って使うことは重要
- ▶ 映画の撮影は2016年なので、トランプ大統領の就任 (2017年) 前に撮影は終了し、編集
 - 今年公開されることの意義大
 - * * キャリーさんからは、今はもっと進んでいるからね、ご注意を！とされています

NYPLの概要

Annual ReportsとAt a Glanceより

New York Public Libraryの基本統計 FY2018			
来館者数	16.8百万人	ウェブサイトの 閲覧数	26.9百万件
貸出冊数	23.9百万件	図書館登録者数	2.2百万人
提供している プログラム数	113,200件	プログラム参加者数	2百万人
利用者用コンピュータ 台数	4,875台	利用者がコンピュー タを利用した回数	2.8百万セッション
図書館コレクション中 の資料数			
研究資料	46.8百万件		
貸出資料	8.9百万件		

The New York Public Library, Astor, Lenox and Tilden Foundations, "Annual Report 2018: Knowledge is power, libraries make us stronger.", 2019.
https://www.nypl.org/sites/default/files/18600_annual_report_2018v19_web.pdf
 (accessed 2019/06/19)

財政上の危機を市民が救う その1

2014年1月訪問調査による

- ▶ 9.11（2001年）、リーマンショック（2008年、当時の理事長はリーマン夫妻）、ハリケーン・サンディ（2012年、マンハッタン島南部が被害）
 - 図書館サービス縮小の危機、特にハリケーン・サンディからの回復に多額の予算が投入され、NYPLの多くの図書館の閉館が市長によって宣言される
 - 世界中から署名等があったという間に集まり（特に、舞台芸術図書館）、市長は前言撤回、計画は再検討するが、SIBLの建物を売却する計画は予定通りであると見解を示した

財政上の危機を市民が救う その2

さて、現在は???? (キャリー・ウェルチ氏)

- ▶ 建物の売却に伴い、よりUpperにある建物に引っ越しするはずだったMid-Manhattan Library at 42nd Streetをリノベーション
 - SIBLも本館に吸収されるのではなく、そちらに同居することに。
今年の12月に開館予定！
(* 映画の中でコンペを勝ち抜いたオランダの建築家が図書館員に対する建築コンセプトの説明を行っていたその図書館)

財政上の危機を市民が救う その3

まさに今、進行中！

- ▶ 財政状況は思わしくなく、大幅予算削減が市長から発表される
- ▶ 対抗措置

HPで寄付を募ると同時に、

「図書館はNYCを強くする」というキャンペーン実施中

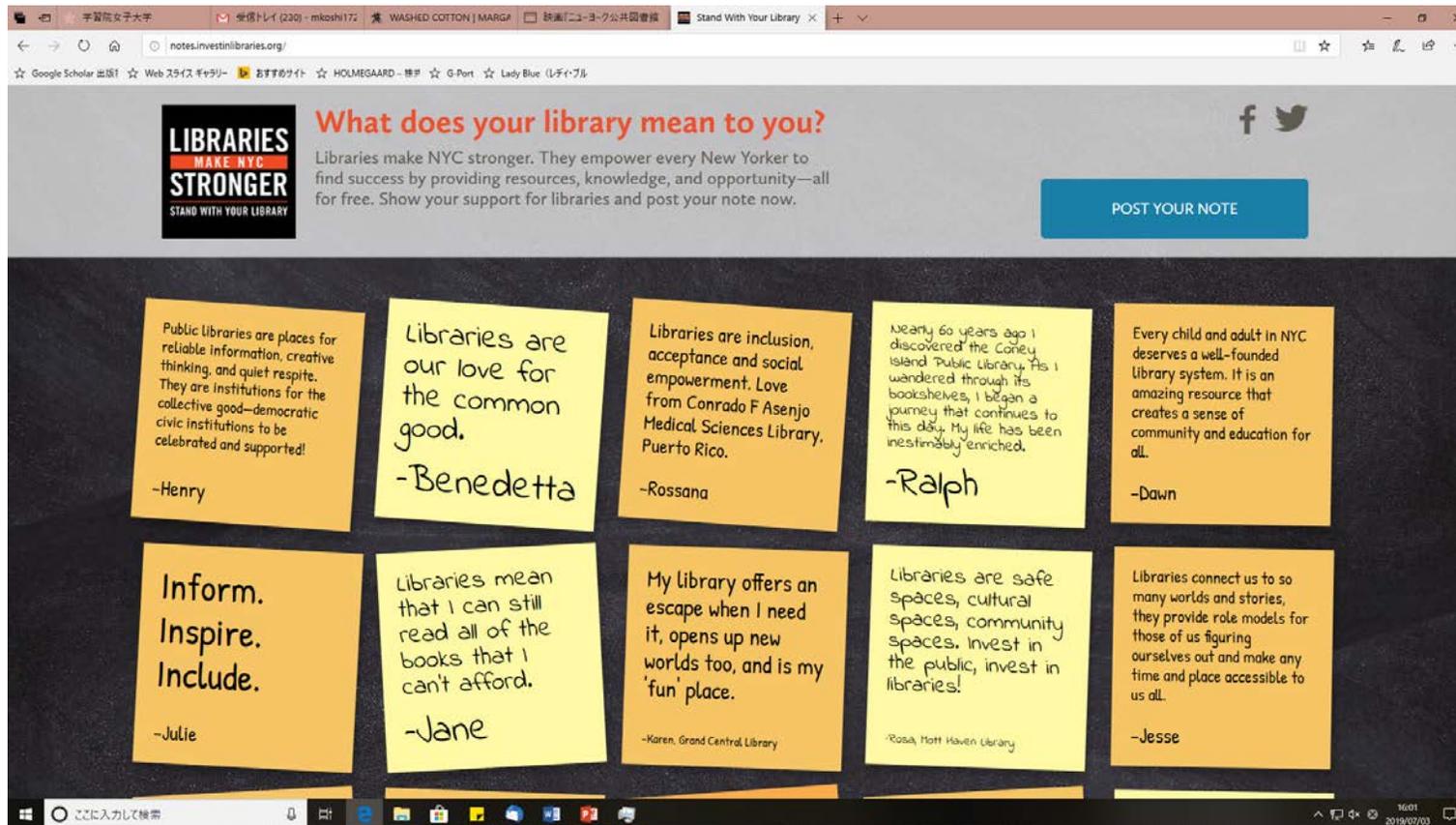
図書館はあなたにとってどのような意味を持ちますか？

という問いに答えるデジタル付箋を募集中。

また、手紙にデジタルサインをして図書館の必要性を訴えて！という
キャンペーンも実施

財政上の危機を市民が救う その4 まさに今、進行中！ デジタル付箋

▶ <http://notes.investinlibraries.org/> (2019/07/03確認)



サラ・ジェシカ・パーカーも強力な支持者



「図書館は、わたしたちのコミュニティの拠り所であり、導き手であり、最も愛されている建物。サラ・ジェシカ・パーカー」

なんと大幅削減されるはずだった予算が追加されることに (June 14, 2019 NYPL Statement)

#InvestInLibraries



**Thank You for Investing in
New York City's Libraries!**

Thanks to over 100,000 letters, sticky notes, calls, and tweets from you and other library supporters, Mayor Bill de Blasio, City Council Speaker Corey Johnson, and the City Council agreed today to invest in libraries. Together, City leaders passed a new budget that includes at least \$33 million operating funding. With this City funding, we can keep our branches going strong, including during evening and weekends when millions of New Yorkers rely on our critical services.

SIGN A THANK YOU LETTER



- 当初FY2020年度予算の1100万ドル削減をビル・デブラシオ市長が発表
- NYPLからの呼びかけに応じて、10万を超える市民からの削減反対が、手紙、デジタル付箋、電話、ツイートを通じて表明される
- 結果として、少なくとも3300万ドルの追加予算を確保
- 必要性の根拠の一つは来年実施される電子投票のためのインフラ整備等

▶ <http://www.investinlibraries.org/>

財政上の危機を市民が救う その5

- ▶ ピンチの時こそ市民を巻き込んで図書館の必要性を訴えることの意義
 - コミュニティに向かって図書館の必要性を問う
- ▶ 予算については、設置母体が目指すものと沿わせていく必要もある
 - NYPLの場合は現市長がリテラシープログラムの推進に関心あり
 - リテラシープログラムには予算がつく！
じゃあ、そこから始めよう
 - 自治体の場合は施政方針（首長が変わると．．．）
 - ロビー活動の重要性
(ステークホルダーに対して理解を求めて予算を獲得)

私立大学の場合は？？？

- ▶ 大学や学部の3ポリシー等との関係（大学（大学院）や各学部が何を目指しているのか）
 - ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）
 - カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）
 - アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）
- ▶ ステークホルダーは誰か、そしてどのような人か？？？

学生を対象としたサービス

- ▶ 今や、図書館には**学生生活全般を対象にした**サービス展開が必要
- ▶ 「居場所としての図書館」は重要
 - 図書館内でどのような活動を受け入れるか。
静かな図書館 → にぎやかな図書館 それとも ???
- ▶ 学生を巻き込む (inclusion) ことで利用を活性化
 - 例：読書ラリー（鳥取大学）：読書量とコメントについてのコンクール
(http://www.lib.tottori-u.ac.jp/dokusho_rally/rally2016.html)
 - 例：課外活動の成果物を展示
 - 例：図書館についての意見をグループインタビューを通じて聴取

鳥取大学附属図書館：読書ラリー

読書ラリー2016 - 読書はカ あなたの世界を広げましょう -

2016.7.7

大学に入ってから、本を読んでいますか？
専門分野以外の本、小説以外の本を読んでいますか？
鳥取大学附属図書館読書ラリーは、
学生のみならず小説以外の本を読むきっかけを作り、
専門分野以外の知識を習得するための読書を応援する企画です。
あなたが読んだ本の紹介文＝コメントを書き、
それを読んだ他の人が本を読むきっかけを作ってください。



【エントリー資格】 鳥取大学学生、教職員のみなさま

【実施期間】 2016年7月11日から2016年11月30日まで

【コメント賞のご案内】

学生のみなさんから提出されたコメントを対象として、素晴らしいコメントを表彰し、副賞を差し上げます。

・中央図書館

- ・附属図書館長賞 1名
- ・学生選考員 4名

・医学図書館

- ・医学図書館長賞 1名
- ・学生選考員 2名

【参加方法】

1 エントリーする

中央図書館、医学図書館カウンターでエントリーシートに記入してエントリーしよう。
エントリーは、所属するキャンパスの各図書館（中央図書館・医学図書館）で行ってください。

2 本を読む

図書館所蔵の以下の本を借りて読む。
中央図書館で参加：中央図書館2階新書・文庫コーナー「読書ラリーコーナー」の本
医学図書館で参加：医学図書館1階プラウジングコーナー「読書ラリーコーナー」の本

3 コメントを書く

読んだ本の感想や紹介文を150字程度ペンネームでコメントカードに書こう。
提出されたコメントは、館内に掲示し、ウェブサイトに公開することもあります。

4 コメントカードを提出

コメントカードを図書館に提出してスタンプを貰おう。

5 コメントに「いいね」する
ほかの人のコメントも読んでみよう。
本を読みたくなくなったコメントにいいねシールを貼ろう。

6 プレゼントをもらう
スタンプを3つ集めると図書館オリジナルのトートバッグを差し上げます。
さらに3つ集めるともう一度！追加で素敵なプレゼントも。



7 コメント賞がもらえるかも！
期間終了後、学生のみなさんからのコメントを対象としてコメント員を選考し、表彰します。

http://www.lib.tottori-u.ac.jp/dokusho_rally/rally2016.html
より（2019/07/03確認）

2017年附属図書館長賞受賞作

【附属図書館長賞】

読書ラリー コメントカード

本のタイトル: 悲しみよ こんにちは

著者名: フランソワーズ・サガン

資料ID: 0110053733

「そんなはずはない」

少女にとって父とはいつまでも若く自由な存在だった。カンヌでの何気ない日々が徐々に崩れていく。それを止めるために少女は行動するが…家族とは何なのか、男女とは何なのか。照りつける夏の日差しに自分の生温かい血液を感じながら胸が張り裂けそうなそんな作品です。

授業や教員との関連サービス

▶ 研究のための図書館

電子資料がよくつかわれるようになった今、図書館は？

▶ 授業支援（embedded librarianshipの議論はどこへ？？？）

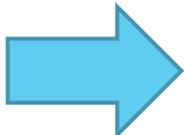
すごく手がかかって得るものが少ない←→必要不可欠

いずれにせよ、教員との連携が必要だし、教員も図書館も時間は取られる

▶ アクティブラーニング設備

使われていますか？：図書館側から利用モデルを示す必要性があるかも

▶ 高大接続に貢献できるかも（高校生を対象にした情報リテラシープログラムに基づいたアクティブラーニングコースの実施等）

 大学全体に貢献できるかもしれない

今回の米国研修から得たもの その1

Library of Congressから

- ▶ LC 「私たちの国立図書館」： 市民への直接サービスを重視
- ▶ 以前からAmerican Historyのようなデジタル化資料の作成に熱心
- 子どもたちに対する歴史教育の一助としての位置づけ
- ▶ LCで提供している資料を授業で活かすための授業計画案や研修も教師に向けて提供
- ▶ 以下、<http://www.loc.gov/teachers/>より

▶ Teachers

The Library of Congress offers classroom materials and professional development to help teachers effectively use primary sources from the Library's vast digital collections in their teaching.

Find Library of Congress lesson plans and more that meet Common Core standards, state content standards, and the standards of national organizations.

今回の米国研修から得たもの その2の1

資金調達に対する考え方の違い

- ▶ 米国の多くの公共図書館はどうしても必要なサービスを実施するための予算が足りないなら外部から確保しようとすることが多い
 - IR担当者を雇用して資金調達を円滑に行ったり、図書館協議会や図書館友の会を活用し寄付を募るところが多い
- ▶ 日本の公共図書館でも、ふるさと納税の使途として、あるいはクラウドファンディングによる資金調達の例の他に、以下のような事例も報告されている。
 - ①地域住民（個人や図書館友の会を通じたの寄付等）による支援活動
 - ②地域企業（一般企業や信用金庫等からの寄付）による支援活動
（越塚）しかし、まだ一般的であるとはいいがたいだろう。
- ▶ 日本の状況について：嶋崎さや香. 公共図書館への継続的な寄付の事例—寄付は地域の図書館を元気にする—. カレントアウェアネス. 2018, (335), CA1915, p. 2-4.
<http://current.ndl.go.jp/ca1915>
DOI : <https://doi.org/10.11501/11062619>

今回の米国研修から得たもの その2の2

- ▶ 日本式予算不足解決法
- ▶ 予算がないなら、図書館が既に持っている資源を活用する
今回のJapan Session
 - 1) 鳥取県立図書館： 認知症予防の音読法
 - 2) 広島市立図書館： 高校生のビジネスプランコンテスト支援
 - 3) 岩手県紫波町図書館： まちの情報ハブとしての図書館
- ▶ 予算を使わなくても
 - 1) 地域のニーズを反映し、
 - 2) 住民を巻き込み、
 - 3) 地域の重要な課題に対する解決の一助となるサービスの展開可能

今回の米国研修から得たもの その3

課題解決型サービスの見直し

▶ 課題解決型サービス

- 地域の課題やニーズを掘り起こして、その解決に貢献できないか
人々のニーズを聞く（よく借りられる資料、不足資料、最近の話題）、政策の分析等
- 図書館には先導的な役割が求められる

▶ 準備として

- ①情報資源の確保（資料）
- ②情報資源の確保（外部の専門家を巻き込む）図書館も自治体の一部
- ③ルート of 確保（個人的な協力依頼ではなく、組織同士の契約にしておく）

▶ 図書館は図書館だけでサービスを展開する必要はない

➡ **大学図書館はどうでしょうか???**

大学図書館も学内での連携、 学外との連携が可能

□ 図書館は学内の他部署と切り離されていないか？ 孤立していないか？
授業関係、就職支援、広報. . .

□ 図書館外にもっと活用できる外部資源があるのではないか？

教員

学生

卒業生

地域の公共図書館

例) ビジネス分野：起業を考えよう！

大学図書館→ 経営学の教科書や研究書

公共図書館→ マーケティング資料

専門図書館

公共図書館とは既に連携を模索→ 「ディープライブラリー」横断検索サイト

<https://dlib.jp/>



改革したら、広報が大事

- ▶ 図書館サービスを改善しても、利用者に知られなければ改善していないのと同じ
- 広報は重要
- しかし、具体的に表現する必要

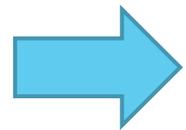
具体的な広報

- ▶ こんなDBが入りましたよ、使ってくださいね・・・×
- ▶ こんなDBが入りましたよ、こういう時にこういう風に使えますよ・・・○
- ▶ 相手が学生でも教員でも同じ
- ▶ 特に、教員は手持ちの資料で研究を済ませることが多い
- ▶ インターネットの普及で「手持ちの資料」の範囲は増大
 - 図書館に行かなくても、DBを検索しなくても研究はできるんですよ
 - 先生の研究はこういう内容ですよ、こういうDBが入ったのですが、こんな風に使えます、いかがですか???
- ▶ 問題はここまで手間や時間をかけられるかどうか（そして地味・・・）

まとめ

図書館員の先導的な役割

- ▶ 情報資源活用モデルの提示
- ▶ 場としての図書館の構築



どうしたら「自分たちの図書館」と思ってもらえるかを考えたい